

ANNUAL REPORT 2024



HOKKAIDO UNIVERSITY
OFFICE OF DIVERSITY,
EQUITY,
AND INCLUSION

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ
(女性リーダー育成型)



CONTENTS

1 文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (女性リーダー育成型) の取組 02

上位職登用	05
研究力向上とリーダー育成	07
意識啓発	16

2 各部門の取組

環境整備推進部門	23
女性研究者育成支援部門	27
教育推進部門	28

実施事業一覧	35
--------	-------	----



文部科学省科学技術人材育成費補助事業

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (女性リーダー育成型) の取組



文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性 リーダー育成型）について

概要

北海道大学は令和5年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」の採択を受けました。

本事業では、学術を起点として世界の課題解決に貢献するためのDEIを実現するため、「Accelerate Ambitions of All」（Triple A）をテーマに、すべての女性研究者がAmbitionを存分に発揮できる環境を整えるとともに、上位職・管理職における女性比率増加の加速を目指し、2028年度までの6年間、事業を実施していきます。

行動計画・目標

行動計画

I DEI推進の基盤としての抜本的な組織改革 および意識改革

- 1 DEI推進体制の強化
- 2 全学的なDEI意識の改革と醸成
- 3 DEI環境の整備とケア支援の拡充

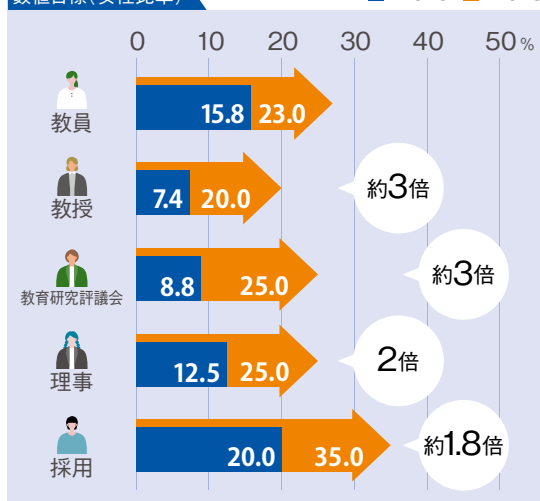
II 各人のambitionに寄り添った女性研究者 リーダーの育成

- 1 上位職（管理職）の育成・支援
- 2 研究力強化およびリーダー育成・支援
- 3 若手研究者（博士学生含む）のキャリア形成支援

III 女性研究者の採用および上位職への積極 的な登用

- 1 女性教授増加を促進する「加速アクションプラン」の実施
- 2 女性教員採用を促進するための総合的な人事計画の策定

数値目標（女性比率）



女性リーダー育成型特設サイト

https://www.dei.hokudai.ac.jp/josei_shien/



DEI 実現に向けた推進体制の強化～「DEI 改革推進会議」及び「DEI 推進員等会議」の設置～概要

北海道大学は、2021 年に公表した「ダイバーシティ・インクルージョン推進宣言」及び 2023 年に公表した「HU VISION 2030」において示したように、本学の Diversity, Equity, and Inclusion (DEI) 実現に向けて、教育研究環境の整備や優れた人材の育成に邁進しています。今年度、DEI 推進の基盤となる抜本的な組織改革の一環として、新たに「DEI 改革推進会議」と「DEI 推進員等会議」を 2024 年 4 月に設置しました。

「DEI 改革推進会議」は、総長、理事、DEI 担当副学長で構成され、DEI の課題に特化した大局的な方針等を審議・策定する会議として設置されました。総長のトップダウンのもと、DEI に係る基本理念に関すること、DEI 推進のために必要な全学的な施策に係る方針に関すること、その他全学的な DEI 推進に必要な事項について審議するとともに、教育、研究、施設整備、社会連携、人事労務、財務等に関して各担当理事間で総合調整を行い、本学の DEI を推進します。

また「DEI 推進員等会議」は、各部局等からの推薦を受け委嘱する DEI 推進員によって構成され、部局における DEI 推進のため、各部局が抱える課題や取組動向について DEI 推進員が情報収集するとともに、好事例や先行事例を部局間で共有し普及に努め、教育研究の現場からのボトムアップの機能を担うことを目的に設置されました。

● 開催実績

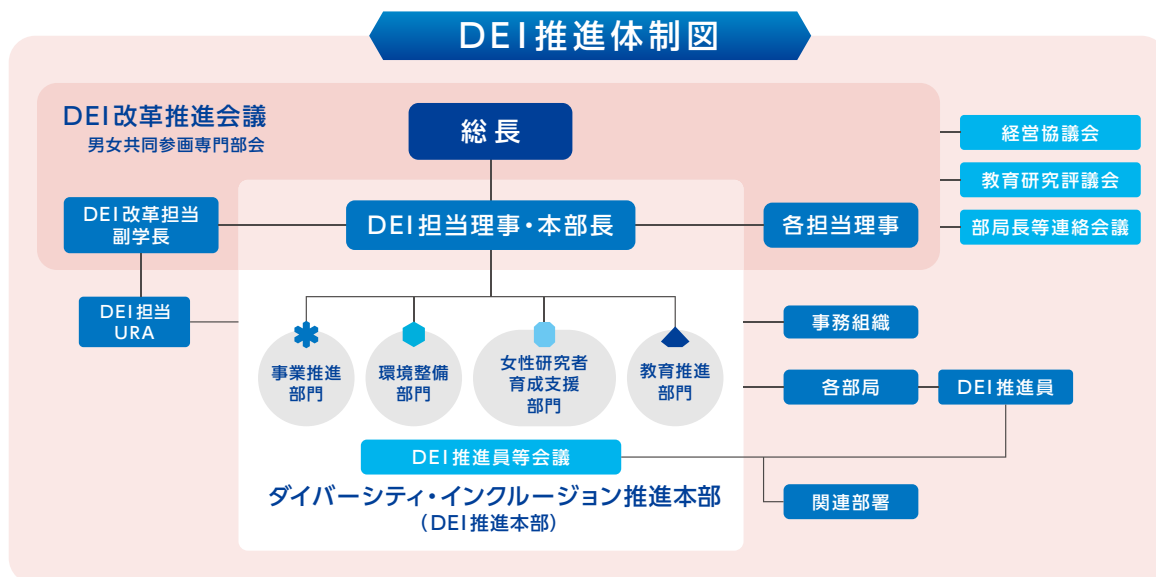
「DEI 改革推進会議」

- 第 1 回 2024 年 7 月 8 日
- 第 2 回 2024 年 10 月 24 日
- 第 3 回 2025 年 3 月 24 日

「DEI 推進員等会議」

- 第 1 回 2024 年 7 月 24 日
- 第 2 回 2025 年 3 月 5 日

DEI 推進体制図



上位職登用

女性教員の採用促進策「35%ルール」の導入

本学では、2028年までに女性教員の在職比率を23%以上とする数値目標を掲げています。この数値目標の達成に向けて、女性教員の採用比率を35%以上とする「35%ルール」を2025年度から実施することを決定しました。

公募への応募を促す北大ガイドマップ制作

本学公募への応募を促すことを目的に、女性研究者が北大への応募を検討される際に仕事や生活の具体的なイメージを持っていただけるよう、札幌キャンパスの研究環境や、キャンパス周辺地域の生活情報等をまとめた「北大ガイドマップ」を新たに作成しました。

あわせて、学内に向けて教員の公募～採用に係るガイドライン、公募様式等の提供を行っていく予定です。



2024 年度「女性研究者招へい支援」

本支援は、女性研究者の上位職登用と積極的な採用の促進を目的に、優秀な女性研究者の可視化やネットワーキングの機会として、学外から女性研究者を招へいし実施されるセミナーや研究会、講演会等の実施にかかる経費等の一部を支援するものです。

- 期間 支援決定後～2025年1月31日（金）
- 支援対象者 北海道大学に所属する教授・准教授（特任教員含む）
- 支援件数 3 件
- 支援内容 女性研究者の招へいに係る旅費、謝金、その他

文部科学省科学技術人材育成費補助金「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」

2024 年度 女性研究者招へい支援 募集要項

1. 趣旨

本学では、令和 5 年度に文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」の採択を受け、女性研究者の上位職登用と積極的な採用の促進に取り組んでいます。

本支援では、優秀な女性研究者の可視化やネットワーキングの機会として、学外から女性研究者を招へいして実施されるセミナーや研究会、講演会等の開催に必要な経費の一部を支援します。

2. 支援内容

1 件あたり 20 万円を上限に補助します。

支援対象となる経費は以下の通りです。

ただし、いかなる場合も飲食物は支援対象外となります。

費目	内容
旅費	女性研究者の招へいに係る旅費 ※本学規定に基づき、原則往復交通費、日当、宿泊費を支給。 但し、当該年度内の移動・宿泊に係る旅費のみを対象とする。
謝金	女性研究者による講演、指導・助言等に対する謝金 ※本学規定に拠る。
その他 (諸経費)	・広報のためのポスター・チラシ、配布資料の印刷費 ・招へい者に対する一時保育室設置に伴う費用 ・セミナー等のオンライン配信に必要なサービス利用料等 ※一時保育室、オンライン配信等の手配・準備は主催者が行うこと。

※海外からの招へいをご検討の場合には、予めご相談ください。

※申請額は支援額上限に合わせる必要はありません。真に必要な経費のみを計上してください。

3. 支援要件

- － 女性研究者を講師として招へいし行われるセミナー等であること
- － ロールモデルとなる女性研究者の可視化に資する取組であること
- － 招へいに際し、セミナー等とは別に、申請者や開催するセミナー等の関係者、所属部局の執行部や DEI ワーキンググループメンバー等と当該女性研究者との DEI に関する意見交換等の機会を設けること。出席者やテーマ・内容については、所属部

<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/24582/>

研究力向上とリーダー育成

研究活動と女性リーダー活躍の両立のための補助人材支援

本支援は、大学の管理運営や社会貢献等、学内外の要職に就く北海道大学に所属する女性研究者に対して、研究活動と社会貢献活動を両立し、女性リーダーとして活躍できるよう、研究者の補助を行う人材の雇用経費を支援するものです。

- 期間 支援決定後～2025年2月28日（金）
- 対象者 北海道大学に所属する女性の教授・准教授（特任教員含む）
- 支援者数 12名（追加募集分含む）
- 支援内容 補助人材雇用経費

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」

2024年度

「研究活動と女性リーダー活躍の両立のための補助人材支援」募集要項

ダイバーシティ・インクルージョン推進本部

1. 概要

本学の女性研究者の割合は、これまで行ってきた取組によって増加傾向にありますが、国の掲げる目標値や他機関の割合に比べると未だ低く、上位職においては特に少ない状況にあります。「女性リーダー育成型」事業では、女性研究者の上位職登用を推進することを目標に掲げていますが、現状では様々な要職等の役割を数の少ない女性研究者で担っており、各部署のヒアリングにおいて一人一人の負担が大きいことに対する懸念の声をいただいております。

このため、本支援では大学の管理運営や社会貢献等、学内外の要職に就く女性研究者に対して、研究活動と社会貢献活動を両立し、女性リーダーとして活躍できるよう、研究者の補助を行う人材の雇用経費を支援します。

2. 支援対象期間

2024年4月1日～2025年2月28日

3. 支援対象者と支援金額

次に該当する研究者を支援対象者とし、補助人材雇用経費の支援を行います。

支援対象者	支援上限額	採択者数
◆女性リーダー活躍支援 ・本学の女性の教授・准教授（特任教員含む） ・特に、大学の管理運営や社会貢献等、学内外の要職 ^{*1} を務めることに伴う業務等によって研究時間を十分に確保することが困難な研究者	180万円	6名程度 （予定）

^{*1} 「要職」…本学もしくは部局執行部における役職（副学長、副理事、総長補佐、研究院長、副研究院長、評議員、代議員等）、日本学術会議や学会における役職（理事長・理事、委員会・分科会委員、連携会員、委員長・副委員長等）、国・地方自治体等の審議会委員等における職とし、年単位の長期にわたり務める必要があり継続的に業務負担が生じる職、他機関等からの依頼や選出によって任命される職を指す。

補助人材の雇用について

補助人材の雇用種別

雇用できる補助人材は技術補助員またはRAとします。

※他の資金（外部資金、大学運営費等）との合算による雇用は原則不可となります。

但し、月単位に期間を分けて、充当する予算を分けることをご希望の際には、予めご相談ください。

<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/23669/>
（追加募集）<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/25073/>

女性の学生及び大学院生向けキャリアイベント開催支援

本支援は、女性の学生及び大学院生が自身のキャリア形成について考える機会を提供するとともに、女性の博士課程への進学を後押しすることを目的に実施されるセミナー等の開催に対し、必要な経費の一部を支援するものです。

- 期間 支援決定後～2025年1月31日（金）
- 対象者 北海道大学の部局、学科、部署等、または教員のいずれか
- 支援件数 3件
- 支援内容 セミナー等の実施に必要な経費

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」 2024年度女性の学生及び大学院生向けキャリアイベント開催支援 募集要項

【概要】

本学では、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」における行動計画の一つに「各人の ambition に寄り添った女性研究者リーダーの育成」を掲げ、博士学生を含む若手研究者のキャリア形成支援に取り組んでいます。

本支援では、当該事業の一環として女性の学生及び大学院生が自身のキャリア形成について考える機会を提供するとともに、女性の博士課程への進学を後押しすることを目的に実施されるセミナー等の開催に対し、必要な経費の一部を支援します。

【支援内容】

本プログラムは、本学の女性の学生及び大学院生を対象に学内で開催される上記目的に資するセミナー等の実施に必要な経費のうち、1件あたり15万円を上限として支援します。

【支援要件】

以下を満たすセミナー、ワークショップ等が支援の対象となります。

- 本学の女性の学生及び大学院生に向けた、キャリア形成や博士課程進学に資するセミナー等であること（単なるゼミや研究会、学会等の一環として行われるものは不可）
- 主な参加対象者は本学の女性の学生及び大学院生であること。ただし、若手研究者や男性の参加を妨げないものとする。
- 多様な女性のロールモデル（他大学・海外研究機関や企業・研究所等で活躍する研究者や、博士・修士の学位を持つ起業家など）を講師に迎え行われるセミナー等であること。ただし、女性ロールモデルや女性研究者のパートナーである男性ロールモデルの提示を妨げないものとする。
- 講師となるロールモデルの選定にあたってはジェンダーバランスを考慮すること（女性の割合を高めるよう努めること）
- セミナー等の効果を鑑み、ロールモデルの人数に対する参加者人数のバランスに留意すること
- 実施主体は、部局、学科、部署等、または教員のいずれかとすること
- 2025年1月31日までに開催される企画であること
- ダイバーシティ・インクルージョン推進本部（以下、「DEI推進本部」という。）を当該企画の共催とすること
- DEI推進本部が実施している他の支援で既に採択されていないものであること

「上位職スキルアップ研修：女性研究者のためのリーダーとして『話す力』“実践編”」開催

- 日付 2024年6月28日（金）
- 場所 北海道大学中央キャンパス総合研究棟1号館

6月28日（金）、女性研究者のリーダーシップやキャリアアップの向上を支援する研修として、「女性研究者のためのリーダーとして『話す力』“実践編”」を開催しました。2月に“理論編”として実施した研修の第2回目の開催となり、6名の参加者がありました。

講師には、前回に引き続き『最強リーダーの「話す力」』（ディスカヴァー・トゥエンティワン社）の著者で、大学学長や政治家、経営者などエグゼクティブクラスのスピーチコンサルタントを務める矢野 香先生（長崎大学・准教授）を講師にお迎えし、リーダーに求められる“話す力”について学ぶ事を目的として開催しました。

はじめに矢野先生から、前回の復習としてリーダーの話し方は別スキルであるという前提について、社会で求められる「話す力」を3つの階層ごとにご説明されました。

続いて、各参加者の社会的な見え方へのアドバイスが行われ、具体的なリーダーの話し方として、自分の個性を印象づける方法、メッセージ性をはっきり出し伝える方法について、著名人のスピーチを事例にリーダーズスピーチの作り方について学びました。

参加者は実際のスピーチ場面を想定した個人ワークに取り組み、参加者同士のフィードバックも交えながら、大変盛会裏に終えることができました。

参加無料

上位職スキルアップ研修
女性研究者のための
リーダーとして『話す力』
～実践編～

日時
2024.6.28（金）
13:00～15:00（予定）
90分～最大2時間の研修および
対面による個別指導

講師
矢野 香氏
国立大学法人長崎大学 准教授

対象・定員 8名程度

会場
北海道大学中央キャンパス総合研究棟1号館1階会議室

お申込・詳細はこちらから
<https://bit.ly/leader628hu>
申込締切: 6月13日



理系女子学生・院生キャリアデザインセミナー「自分らしい、 ありたい姿を考えよう～ロールモデルとの対話から考える～」開催

■ 日付 2024年7月16日(火)

■ 場所 北海道大学学術交流会館

7月16日(火)、理系女子学生・院生キャリアデザインセミナー「自分らしい、ありたい姿を考えよう～ロールモデルとの対話から考える～」を開催しました。北海道大学 学術交流会館にて対面で行い、14名が参加しました。

対話セッションではアクセンチュア株式会社の4名の社員の方がロールモデル話者(以下、ロールモデル)として、グループ分けされた参加者が座るテーブルにそれぞれ加わり、現在の会社に就職するまでに経験された葛藤や紆余曲折のエピソードを語っていただきました。その後、学生が将来について悩んでいることや今、抱えている課題について率直に相談や質問をし、ロールモデルから将来や人生における考え方のアドバイスを受けました。

本キャリアデザインセミナーを終えて、学生からは、

「将来について、身構えていた自分がいたけど、先輩方の話を聞き、もう少し気楽に考えてもいいことがわかった!」「将来何をしたいのか、自分の軸を持つことが大切だと感じた!」「将来に向け、今、もっと頑張らなければ!と思えるきっかけとなった。」等の声がありました。

また、ロールモデルからは、「参加された皆さん、意識が高くて素晴らしい!」と、今後の活躍を楽しみにされるお言葉をいただきました。

対話セッションは、学生とロールモデル、お互いに話が途切れることなく盛り上がり休憩時間中も時間を惜しむように続けました。学生の熱心な姿勢にロールモデルも真摯に応えていました。



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/24692/>
<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/24894/>

「第1回北大女性教授ネットワーキングの会」開催

■ 日付 2024年8月2日（金）

■ 場所 北海道大学 D-RED 棟

8月2日（金）、第1回北大女性教授ネットワーキングの会を、本学D-RED棟カフェラウンジにて開催し、計27名（オンライン含む）が参加しました。

本会は、昨年度実施した「加速アクションプラン」によって増加した女性教授を対象に、まだまだ数が少ない女性上位職者が孤立することなくそれぞれの能力を発揮して活躍できるよう、学内のネットワーク強化を目的に、ダイバーシティ・インクルージョン推進本部（DEI推進本部）女性研究者育成支援部門の教員が企画・運営を行いました。

女性リーダーとして、どのように研究、教育、そして管理運営に携わっていくことが必要か、その経験知を共有し、互いに学び合える機会として、また、多様な学問領域の研究者が集まる場とし、異分野融合研究への発展にもつなげるネットワークに資するため、DEI推進本部と創成研究機構データ駆動型融合研究創発拠点（D-RED）が共同開催しました。

第一部では、副学長、D-RED拠点長の長谷山美紀 情報科学研究院教授に、「女性大学教員のキャリア形成～研究室運営から大学運営を経験して分かったこと」と題し、ご講演をいただきました。

講演ではこれまで女性研究者として歩んできた道のり、部局長としてどのようにリーダーシップをとってきたか等についてお話があり、参加者からは「リーダーとしてのビジョンが非常に明確で感銘を受けました」、「キャリアの各々の段階での課題や対応方法などを伺うことができて多くの刺激を受けました」等の感想がありました。

女性リーダーとしての在り方や、今後どのようにキャリア形成していくか等、より具体的に考える機会になったことと思います。

また、第二部では、女性研究者育成支援部門長の小川美香子 薬学研究院教授が司会となり、「研究室運営（チーム運営）の課題と改善」をテーマにパネルディスカッションが行われました。参加者からは「様々な仕事、役割がある中で、どのように限られた時間を有効活用して克服してきたか」「まだまだ少ない女性研究者がネットワーキングを図るこのような機会は重要である」といった質問や意見が出され、会場全体で活発な意見交換がなされました。

終了後には懇談会も行われ、部局や研究分野が異なるもの同士が一堂に会する貴重な場となり、予定時間を超過しても終わらないほど、笑顔溢れ会話が弾む会となりました。

今回が初開催となりましたが、参加者からは大変好評をいただきました。DEI推進本部では、今後とも本学女性研究者のネットワーキングの会を継続して実施していく予定です。

第1回 北大女性教授ネットワーキングの会
共同開催 創成研究機構データ駆動型融合研究創発拠点
ダイバーシティ・インクルージョン推進本部

日時 2024年8月2日（金） 15:00-17:00
場所 D-RED棟（北13条西10丁目）3F カフェラウンジ

対象 北海道大学の女性教授の皆様

プログラム
第1部 女性リーダーに関するご講演
講師：副学長・D-RED拠点長 情報科学研究院 長谷山 美紀 教授
第2部 パネルディスカッション
「研究室運営（チーム運営）の課題と改善」
司会：薬学研究院 小川 美香子 教授
終了後 懇談会（対面）

「お問合せ」
ダイバーシティ・インクルージョン推進本部 office@dei.hokudai.ac.jp

北海道大学
ダイバーシティ・インクルージョン推進本部

D-RED
創成研究機構 データ駆動型融合研究創発拠点



国立大学法人北海道大学桂田芳枝賞

日付 2024年12月4日（水）
場所 北海道大学事務局棟役員会室

12月4日（水）、本学事務局棟役員会室において「国立大学法人北海道大学桂田芳枝賞」授与式が行われ、第2回受賞者4名に寶金清博総長から顕彰状および報奨金（目録）が授与されました。寶金総長からは、これまでの受賞者の研究・教育等の功績が称えられるとともに、今回の受賞を励みに今後ますますご活躍されることを期待しています、との激励の言葉が述べられました。授与式の後には受賞者を囲んでの懇談会が和やかに行われました。

● 第2回受賞者（五十音順）

- 池田 敦子（大学院保健科学研究院・教授）
- 笠井 久会（大学院水産科学研究院・教授）
- 玉腰 暁子（大学院医学研究院公衆衛生学・教授）
- 長里 千香子（北方生物圏フィールド科学センター・教授）

2024年度 桂田芳枝賞受賞者

2024年12月4日（水）、本学事務局棟役員会室において「国立大学法人北海道大学桂田芳枝賞」授与式が行われ、第2回受賞者4名に寶金清博総長から顕彰状および報奨金（目録）が授与されました。寶金総長からは、これまでの受賞者の研究・教育等の功績が称えられるとともに、今回の受賞を励みに今後ますますご活躍されることを期待しています、との激励の言葉が述べられました。授与式の後には受賞者を囲んでの懇談会が和やかに行われました。



大学院保健科学研究院
教授

池田 敦子 IKEDA Atsuko

博士（医学）（北海道大学）、東京理科大学卒、万有製薬（株）勤務後、北海道大学大学院に進学し、修士号、博士号を取得、環境健康科学研究教育センターを経て、2021年より現職。専門は環境疫学、衛生学、室内環境と健康および出生コホート研究を推進。

このたび桂田芳枝先生のお名前を冠した賞をいただき、大変光栄に思います。幸いこれまでロールモデルとなる素晴らしい女性指導者、先輩、同僚に恵まれ、研究生活を送ってきました。桂田先生をはじめとする先人の先生方が切り開き、築いた教育・研究環境をさらに発展させ、大学生・院生・若手研究者が多様性を尊重し、活躍できる環境を醸成することが、この賞をいただいた私の役割だと思っています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



大学院水産科学研究院
教授

笠井 久会 KASAI Hisoe

博士（水産科学）（北海道大学）、日本学術振興会、水産科学研究院 助教、准教授を経て2024年より現職。この間、日本水産学会 水産学奨励賞、北海道科学技術奨励賞等を受賞。魚介類感染症の防除について研究を行っている。

桂田芳枝先生の名を冠した名誉ある賞をいただき、大変光栄に存じます。これまで支えて下さいました吉水名誉教授をはじめ皆様により感謝申し上げます。本賞を受賞したことを大きな励みとし、より一層研究と教育に邁進し、社会の発展に貢献できるよう努めて参ります。また、桂田先生のご功績に学び、次世代の研究者が力を発揮できる環境づくりに力を尽くしていきたいと考えております。



大学院医学研究院公衆衛生学
教授

玉腰 暁子 TAMAKOSHI Akiko

名古屋大学医学部卒、名古屋大学、国立長寿医療センター、愛知医科大学を経て、2012年より現職。地域で生活する人々の健康関連要因に関する疫学研究を実施。若者を対象に研究を展開する北大COI-NEXTでは2024年度よりプロジェクトリーダーを務める。

研究の道に進む女性が少ない時代に活躍された桂田芳枝先生のお名前を冠した賞をいただき、大変光栄に存じます。人はそれぞれ違った人格として生まれ育つ上、多様性は認めるものではなく存在するものとも言えますが、それが認められるために努力をされてきた先人のおかげで今があり、そして未だ途上なのだと思います。賞をいただきながら奮闘ですが、DEIを推進する北海道大学が「女性」を特別視しなくて済む時代が来るよう、皆で力を合わせていきたいものです。



北方生物圏フィールド科学センター
教授

長里 千香子 NAGASATO Chikako

博士（理学）（北海道大学）、日本学術振興会特別研究員、北方生物圏フィールド科学センター准教授を経て、2020年より現職。海藻の受精、発生、生活環制御に関する研究を行っている。日本植物学会奨励賞等を受賞。2019年より室蘭臨海実験所所長。

桂田芳枝先生のお名前を冠した賞を頂戴し、誠に光栄に思います。私が所属する北方生物圏フィールド科学センターは、教員が主に地方に駐在し、施設とフィールドの管理をしながら、日々、研究・教育に打ち込んでいます。地方施設は札幌キャンパスとは異なる課題を多く抱えております。教職員とそこで学ぶ学生が、恵まれたフィールドを目の前に思いのままに活躍できる環境整備の実現に尽力していきたいと思っております。



※50音順

「第2回北大女性教授ネットワーキングの会」開催

■ 日付 2025年3月10日（月）

■ 場所 北海道大学附属図書館

3月11日（火）、第2回北大女性教授ネットワーキングの会を、本学図書館大会議室（A～C）にて開催し、計28名（オンライン10名含む）が参加しました。

本会は、北大の女性教授を対象に、まだまだ数が少ない女性上位職者が孤立することなくそれぞれの能力を発揮して活躍できるよう、学内のネットワーク強化を目的に、ダイバーシティ・インクルージョン推進本部（DEI推進本部）女性研究者育成支援部門の教員が企画・運営を行いました。

第一部では、スラブ・ユーラシア研究センター 青島 陽子 教授、大学院地球環境科学研究所 三輪京子 教授、大学院歯学研究所 樋田 京子 教授に「女性教授からの話題提供」と題し、マイノリティである女性研究者として、研究室運営や日々の困りごとをどのように解決すれば良いか、DEIを推進していくために今まで考えてきたこと等についてお話いただきました。続く第二部では、女性研究者育成支援部門長の小川美香子 薬学研究所教授がファシリテーターとなり、第一部でのお話を元に、参加者によるグループトークと全体共有が行われました。

参加者からは「身近に女性教授が少ない環境にいる私たちにとって、他の分野の多くの人の体験や悩みを共有することは、励みになります」、「ダイバーシティを考える上でも視野が広がり、良い刺激になりました」、「事務補助員の雇用について様々な事例等お話を伺えてよかったです」等の感想がありました。

今回が2回目の開催となりましたが、初めて参加される方も多く、部局や研究分野を越えて交流を深める貴重な場となり、終了後もお話が尽きず大変盛会裏に終えることができました。



女性研究者インタビューシリーズ「LILAS (リラ)」発行

フロントランナーとして活躍している女性リーダー（Leader）を紹介する女性研究者インタビューシリーズ LILAS。リラはフランス語で札幌の花としても知られるライラック（Lilac）を意味します。インタビューの内容から着想を得た植物のアレンジメントとともに、植物の持つ力強さやしなやかさ、多様性などのメッセージを媒介させながら、オリジナルインタビューシリーズとして発信しています。



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/lilas/hida/>



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/lilas/tsuji/>



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/lilas/kuroiwa/>

意識啓発

DEI 公開講座 開催(大学院共通科目「SOGIESC 概論:セックス・ジェンダー・セクシュアリティ研究入門」)

- 日付** 第6回 2024年11月13日(水)
 第7回 2024年11月20日(水)
- 場所** 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟

2024年度2学期開講の大学院共通科目「SOGIESC 概論:セックス・ジェンダー・セクシュアリティ研究入門(2024)」(責任教員:瀬名波栄潤(文学研究院 人文学部門表現文化論分野 教授))では、セックス・ジェンダー・セクシュアリティに関する文理諸分野の研究状況について、各回多様なテーマで講師が講義を行っています。この内、学外から講師を招へいたした2回を、ダイバーシティ・インクルージョン推進本部共催「公開講座」として開催しました。

大学院共通授業科目
**SOGIESC概論:
 セックス・ジェンダー・セクシュアリティ
 研究入門 (2024)**
 TRANSDISCIPLINARY PERSPECTIVES OF
 SEX, GENDER
 AND SEXUALITY
 責任教員 瀬名波栄潤
 (文学研究院 人文学部門表現文化論分野 教授)

第6回 11/13 (水)
クィア・フェミニスト映画批評
 菅野 優香氏
 (同志社大学グローバル・スタディーズ研究科 教授)

第7回 11/20 (水)
**アジアのLGBTQ
 ～台湾同性婚法の誕生までとその後**
 鈴木 賢氏
 (北海道大学 名誉教授、明治大学法学部 教授)

時間 5 講時限 16:30～18:00
 会場 人文・社会科学総合教育研究棟W309
 対象 本学学生、大学院生、教職員、
 関心のある方
 ※履修登録をしていない方でも受講できます。

主催: 文学研究院応用倫理・応用哲学研究教育センター、ダイバーシティ・インクルージョン推進本部

開講日	内容	講師
11/13	クィア・フェミニスト映画批評	菅野 優香 同志社大学 グローバル・スタディーズ研究科 教授
11/20	アジアのLGBTQ ～台湾同性婚法の誕生までとその後	鈴木賢 北海道大学 名誉教授、明治大学法学部 教授

<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/25783/>

DEI キャンペーン「DEI (Diversity, Equity, and Inclusion) の視点からみる大学のイノベーション創出とグローバルリーダーの育成」特別講演会開催

日付 2024 年 11 月 22 日 (金)
場所 北海道大学百年記念会館

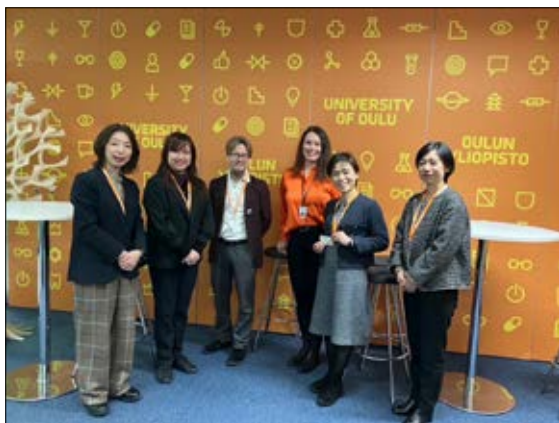
ハイブリッド形式で行われた特別講演会には、総勢 93 名が参加しました。講師の我喜屋 まり子氏（京都大学経営管理大学院 客員教授）のグローバルな経験に基づいた、今後の日本の大学に求められる組織改革、現在の世界における日本の立ち位置と今後把握すべき DEI の視点、学生への熱いメッセージを頂戴し、講演後には予定時間を超過するほど多くの質問にお答えいただき盛況に終了しました。



フィンランド・オウル大学訪問調査

- 日程 2024 年 11 月 23 日（土）～11 月 28 日（木）
- 訪問先 オウル大学（フィンランド・オウル市）
- 訪問者 DEI 推進本部副本部長ほか計 5 名
- 内容 オウル大学における DEI の先進的な取組、プログラム等についての調査

世界経済フォーラム「ジェンダー・ギャップ指数」(GGI)において、2024 年世界第 2 位のフィンランドから、大学におけるジェンダー平等をはじめとする DEI の取組を学ぶことを目的に、2001 年に本学と大学間交流協定を結んでいるオウル大学を訪問し、同大学の先進的な取組やプログラム等についてヒアリング調査を行いました。調査では、オウル大学の DEI 運営体制やジェンダー平等等に関する行動計画、DEI に関連する各部署等の具体的な支援等の取組、EU プロジェクトによる「RESET」プログラムの実施状況等について説明を受けるとともに、男女の区別のないユニセックストイレ等の施設見学や大学のハラスメント対応に関する講義に参加し、情報を収集しました。今後、本学にオウル大学から講師を招へいし、ワークショップを開催すること等を計画しています。



DEI キャンペーン「障害者週間特別講演会 『耳が聞こえなくなっても～難病の子供を持ち、大企業を辞めて起業するまで～』」開催

■ 日付 2024年12月4日（水）
 ■ 場所 北海道大学クラーク会館

12月3日から9日までの「障害者週間」の期間に合わせ、特別講演会「耳が聞こえなくなっても～難病の子供を持ち、大企業を辞めて起業するまで～」を開催しました。合計75名の学生・教職員、全国各地からの高等教育機関関係者等が参加しました。

今回講師を務めていただいた牧野友香子氏は、先天性の重度難聴があり障がいをもつ当事者でもあります。小中高校は特別支援学級ではなく友人と同じ通常学級で学び、その後大学に進学され、一般採用枠で企業に就職をされたご経歴をお持ちです。その後、難聴児を支援する会社を起業され、現在は拠点をアメリカに移しキャリアを積まれています。

講演では、小中高の学習環境とは異なる大学で生じる問題や、企業に就職し仕事をする中で気づいた課題などについて、ご自身の経験を交えながら話をいただきました。

参加者からは、「ご本人の経験談は、障がいの有無にかかわらず、人生に役立つものだと思います。失敗を恐れず、毎日を過ごしたいと思えました。」「（障がいの障壁を予め減らせるようにと、保護者や周囲の人が先回りをして配慮やサポートをしてしまうという点について）先回りせず本人に経験してもらってから、本人に選択してもらうというのも本当に大切なことで、気付かされることが多かったです。」「努力では埋められない、聞こえる人が無意識に入手している情報について、自覚しないといけないことを学びました。」「聞こえなくなっても牧野さんのように前向きに生きられることがよくわかり、元気をいただきました。」などの、たくさんの感想を頂きました。

2024 DEI キャンペーン「障害者週間」特別講演会
耳が聞こえなくなっても
 ～難病の子供を持ち、大企業を辞めて起業するまで～
 先天性の難聴者として、難病を抱えた子を持つ親として～就職・出産・起業・涙と、自分らしいキャリアを築き続ける牧野友香子氏の講演会です。
 障がいをお持ちの方だけでなく、キャリア形成についてお考えの方も是非ご参加ください。
12/4（水）
 11:15～12:45
 （開場10:45）
 クラーク会館大集会室1
 対象：本学学生、教職員、道内高等教育機関関係者、興味・関心のあの方
 定員：先着100名（対面・オンライン）
 ※QRコードより事前申込
 聴覚障がいの方へのサポートをご用意しています（要事前申込）
 主催：北海道大学ダイバーシティ・インクルージョン推進本部
 共催：北海道大学学生福祉推進センター・アクト・イン・ラボ
 問い合わせ：office@dei.hokudai.ac.jp



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/26216/>

FD 講演会

「東京科学大学（理工系）に於ける女性活躍への施策と課題」 共催

日付 2025年1月27日（月）

場所 オンライン（Zoom）

「入試における女子枠の設定」「女性限定公募」をメインテーマとするFD講演会を、理学院宇宙物理学専攻・物性物理学専攻との共催で、1月27日にオンラインで開催しました。

講師に東京科学大学の桑田 薫副理事をお迎えし、「東京科学大学（理工系）に於ける女性活躍への施策と課題」と題したご講演をいただき、本学教職員72名が参加しました。

桑田副理事ははじめに、東京科学大学の女性活躍に向けた環境整備の取組を紹介された上で、DE&Iを実現するには組織環境の整備だけでなく組織の方向付けが重要だと述べられました。

その後、東京科学大学で行われている「入試女子枠（総合型選抜、学校推薦型選抜）」と「女性限定教員公募」について、導入に至った経緯や課題、導入後のフォローアップについて具体的な例を交えながらお話いただきました。特に、学内に対し丁寧な説明や研修を行うことで周囲の理解を促進し、共通意識を形成していく必要性を強調されました。DE&Iが浸透することで一人一人がいきいきと自分の力を発揮できる環境になれば、組織全体としてのパフォーマンスが向上し、それがイノベーションの創出に繋がり、社会へのインパクトを生み出すことができる、と述べられていたのが印象的でした。

法的な注意点や財源の確保等、導入に際し検討された課題や対応などのお話も多くお聞きすることができ、特に実施について現在検討している本学教職員にとっては大変参考となるご講演となりました。

講演会終了後のアンケートでは「日本の現状を踏まえると、女子枠の設定と学生向けの説明（特に男子学生）が重要であり、それを継続することで社会全体の意識改革につながるもの、と理解しました。」「採用する（主に）男性教員の意識改革が特に必須であると感じました。」等、様々な感想が挙がりました。また、「所属部局でも検討中ですが、広報に加えて、法律面やフォローアップなどの検討も重要であることを理解しました。」等、導入を検討されている部局の方々からの声も寄せられました。

令和6年度東京科学大学女子枠（総合型選抜・学校推薦型選抜）「ダイバーシティ＆インクルージョン（DE&I）の推進」に関するFD講演会

東京科学大学（理工系）に於ける女性活躍への施策と課題

東京科学大学（理、東京科学大学）では、ダイバーシティ＆インクルージョン（DE&I）の推進の一環として女子学生比率の向上を目的に、2024年4月入生の女子学生比率を「女子枠」を導入しました。今回は、「入試女子枠」導入に至るまでの経緯や入学後の現状等についてお話いただくとともに、女性教員を支援する本学の「女性限定公募」など、女性活躍に向けた取組状況と課題への対応等の詳細をご案内いたします。

開催日時
2025/1/27(月) 16:30～17:30

講師
国立大学法人東京科学大学 副理事（DE&I担当）
桑田 薫氏
1981年日本生まれ。博士（工学）。東北大学大学院工学研究科（専攻：材料工学）にて博士号取得。2016年に東京科学大学 理学部物性物理学専攻に専任。同大学副学長（研究企画担当）・学長特別補佐・理事・副学長（ダイバーシティ推進担当）等を歴任し、2024年10月より東京科学大学 副理事（DE&I）に就任。現在に至る。ご専門は経営学、マーケティング・イノベーション管理。

対象
北海道大学教職員

開催方式
オンライン（Zoom）

詳細はHPをご覧ください▼
<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/26605/>
<https://so02web.zoom.us/join/register?w=12b1wmeKbQbAm5SiaBww>
①事前登録にご協力ください②参加登録はこちらから▲

主催：理学部宇宙物理学専攻・物性物理学専攻、DEI推進本部
お問い合わせ：office@dei.hokudai.ac.jp

北海道大学 DEI FD講演会

東京科学大学（理工系）に於ける女性活躍への施策と課題

2025年1月27日
東京科学大学 副理事（DE&I担当）
桑田 薫

Institute of SCIENCE TOKYO

<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/26605/>

研修・マテリアルの制作

● DEI FD 研修動画

2025 年度から予定されている DEI に関する FD の必修化に向けて、DEI 推進本部教育推進部門と北海道大学オープンエデュケーションセンターの協力の下、本学における DEI 推進と「北海道大学ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言」について理解を深めることを目的とする第 1 回目の動画の制作を進めました。

● DEI 広報マテリアル

Web サイトや広報誌等の作成時において、DEI の観点から多様性に配慮した言葉やイラスト等の様々な表現について学び、理解を深め、今後学内から発行・発信される媒体の制作において参考としていただくことを目的に、DEI 広報マテリアルの作成を進めました。

● 多様な性（SOGIESC）に関するガイドライン

北海道大学の多様な性に関する基本理念および基本方針を示すとともに、これに基づく本学の就学・就業環境の整備や規則・規程等の対応について具体的な情報や内容をまとめたガイドラインの作成を進めました。

各部門の取組



環境整備推進部門

ベビーシッター利用育児支援

- 期間 2024年6月3日（月）～2025年3月31日（月）
- 申請対象者 北海道大学の教職員（対象児童の保護者）
- 支援内容 家庭内における保育、家庭と保育等施設の間の送迎

北海道大学で勤務する教職員の育児と就労を支援するために、ベビーシッターサービス利用時に使用できる割引券を発行しました。

本事業は「こども家庭庁」の委託を受けた公益社団法人全国保育サービス協会が実施している「ベビーシッター派遣事業割引券」を利用して行うものです。この割引券を使用してベビーシッターサービスを利用すると、1日の利用料金から割引を受けることができます。

2024年度ベビーシッター利用育児支援募集要項

北海道大学で勤務する教職員の育児と就労を支援するために、本学では、ベビーシッターサービス利用時に使用できる割引券を発行します。

本事業は「こども家庭庁」の委託を受けた公益社団法人全国保育サービス協会（以下「実施団体」という。）が実施している「ベビーシッター派遣事業割引券」を利用して行うものです。この割引券を使用してベビーシッターサービスを利用すると、1日の利用料金から割引が受けられます。

本事業は、通常割引券と多胎児割引券の以下2つとなります。本年6月3日より申し込み受付を開始しますので、育児に携わる教職員の方々は、ぜひご活用してください。

※割引券は電子による発行となります。ご利用にはQRコードが使える端末が必要です。

①ベビーシッター利用育児支援事業（通常割引券の利用について）

利用対象者	◆北海道大学の教職員（非正規職員を含む。学生は不可。）であり、対象児童の保護者であること。 ※北海道大学の共済組合または社会保険加入者に限る。 ※利用者本人が出勤日等かつ配偶者の就労、病氣療養、求職活動、就学、職業訓練等、または、ひとり親家庭であることによりサービスを使用しなければ就労することが困難な状況にあること（職場への復帰を含む）が必要。
対象児童の年齢	◆0歳から小学校3年生までの児童（利用対象者と同居していること） ◆健全育成上の世話を必要とする（身体障害者手帳・療育手帳等の交付を受けている）場合は、小学校6年生までの児童も対象となります。 ◆職場への復帰のためのサービス利用の際は、義務教育就学前の未就学児が対象となります。
割引金額	◆1日（回）対象児童1人につき2枚まで（1枚につき2,200円、最大4,400円） 〈例 きょうだいが2人の場合、1日4枚〉 ・利用料金が1回につき使用枚数×2,200円以上のサービスを対象とする。 ・会費、交通費、キャンセル料、保険料等のサービス提供に付随する料金は含まない。 ・助成限度額を超える利用金額は利用者負担

1

令和6年度
ベビーシッター利用割引券
始めました！

北海道大学では、仕事と子育ての両立支援のため、公益社団法人全国保育サービス協会に認定された事業者によるベビーシッター派遣サービスを利用するにあたり、お申し込みのあった教職員に事前に電子割引券を発行いたします。
本学用にまとめた要項の記載内容を確認の上、メールにてお申し込みください。

利用対象者
北海道大学の教職員
(非正規職員を含む。学生は不可。)

対象児童等の年齢
・0歳～小学校3年生
・健全育成上の世話を必要とする
小学校6年生まで

割引金額
割引券1枚につき2,200円
対象児童等1人につき
1日（回）2枚まで利用可
(その他の利用条件あり)

対象サービス
・家庭内における保育
・家庭と保育等施設の間の送迎

利用期限
令和7年3月31日まで

注意事項
・勤務していない時間/日は利用不可
・利用申請を行う際に、割引券等取扱事業者とベビーシッター業務提供契約を締結する必要あり
・割引券の枚数には限りがあり、発行元の予算の範囲で利用期間内であっても交付を終了する場合あり

北海道大学
ダイバーシティ・インクルージョン推進本部/推進室
E-mail: bs-hu@dei.hokudai.ac.jp
※割引券発行には、事前の利用申請が必要です。

印刷はこちらから
<https://tbl.jp/babysitter2024hu>

Hokkaido University
Office of DEI

北大× JAL「さっぽろレインボープライド 2024」パレード参加

■ 日付 2024年9月15日（日）

■ 場所 札幌市内（大通3丁目～大通公園～札幌時計台～赤れんが庁舎～札幌駅前通り）

9月15日（日）に行われた「さっぽろレインボープライド 2024」パレードに、本学の学生及び教職員が参加しました。今回初の試みとなった同パレード参加は、2022年に本学との包括連携協定を締結した日本航空株式会社（JAL）からのご提案により実現したもので、ダイバーシティ・インクルージョン（DEI）推進本部と社会共創部社会連携課が行った学内募集に応募いただいた18名とJAL社員の方々が合同チームとしてパレードを歩きました。

今回で24回目を迎える「さっぽろレインボープライド」（主催：さっぽろレインボープライド実行委員会）は、LGBTQなどの性的マイノリティの方々に対する差別の解消や性の多様性を認め合う社会の実現を目指し、毎年9月に開催されるイベントで、当事者の方々はもちろん、理解し支援する人（アライ）が共に参加するものです。

今年のパレードには全体で1,000人以上が参加され、JALと本学は「パッションフロート」という一番初めに歩くグループに配置され、性的マイノリティへの理解促進に向けたメッセージが流れる先導車の後に続いて行進しました。

今回参加された方の中には初めてパレードを歩くという方も多く、周囲の方に倣って「ハッピープライド！」と元気な掛け声をかけあったり、沿道に向けて手を振るなどしながら札幌の街中を練り歩きました。沿道や道行く車中の方からは、パレードの行列に向けて温かい声援を送ってくださる方も多く、参加者からは「市民同士に一体感が生まれ、とても良い雰囲気のパレードだった」との感想が聞かれました。

当日は朝から降っていた雨もパレード前には上がり、LGBTQプライドのシンボルであるレインボーカラーのフラッグが一層輝くパレードとなりました。

大通3丁目を出発し、大通公園、札幌時計台、赤レンガ庁舎、札幌駅前通りを巡る約3kmのコースを歩き終え、JALと北大の合同チームの皆さんで写真撮影を行い終了しました。パレード参加を通じて学生同士の新たな交流にも繋がるなど、性的マイノリティへの理解とサポートの広がりを共有する大変有意義な機会となりました。



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/25347/>

北海道大学リカレント教育推進部公開シンポジウム「誰もがつながり合う共生のまちづくり～演劇教育が創る未来のビジョン～」共催

日付 2024年12月14日（土）

場所 北海道大学クラーク会館

北海道大学リカレント推進部との共催で、公開シンポジウム「誰もがつながり合う共生のまちづくり～演劇教育が創る未来のビジョン～」を12月14日（土）クラーク会館講堂で開催しました。

本シンポジウムは、リカレント推進部が主となり採択を受けた札幌市の「令和6年度大学と民間企業等との連携による公益的事業の推進事業補助金」における「札幌市の劇団他と連携した演劇的手法による地域課題解決に取り組むプロジェクトマネージャー養成事業」の一環として実施したものです。

シンポジウムでは、特別講師に作家・演出家の鴻上尚史氏を招へいした基調講演「コミュニケーションのヒント」、障がい者雇用において労働大臣賞を受賞している株式会社アイワードの代表取締役社長奥山敏康氏による情報提供等が行われました。

北海道大学リカレント教育推進部
公開シンポジウム

共生
誰もがつながり合う
～演劇教育が創る未来のビジョン～

日時 2024年
12月14日（土）
14:00～16:00（開場13:30）

会場 北海道大学クラーク会館講堂
札幌市北区北8条西8丁目（手話通訳あり）

特別ゲスト講師
鴻上 尚史 氏
作家・演出家
コミュニケーションのヒント

パネリスト
奥山 敏康 氏
株式会社アイワード 代表取締役社長
会社は社会の縮図

パネリスト
種村 剛
北海道大学リカレント教育推進部 特任教授
課題解決について大学で
学び直してみませんか

参加申込
定員300名（参加無料）
事前申込制となります。
申込フォームにてご登録をお願いいたします
申込フォームURL
<https://qr.paps.jp/WluUj>

【主催】北海道大学大学院教育政策推進部リカレント教育推進部
【共催】一般社団法人劇団四季札幌、公益財団法人北海道劇団協会、札幌市まちづくり協賛団体（教育文化委員会・二階堂文化振興会、北海道大学ダイバーシティ・インクルージョン推進本部（S・S・C））
【協力】北海道大学高等教育推進部国際教育研究部
このシンポジウムは、札幌市の「令和6年度大学と民間企業等との連携による公益的事業の推進事業補助金」の採択を受けて、札幌市と関係団体・企業との連携による地域課題解決に取り組むプロジェクトマネージャー養成事業の一環として行われます。

北海道大学川柳大会

北海道大学統合 URA 本部との共催で「北大川柳大会 2024」（北大川柳大会実行委員会）を開催しました。「北海道大学と私」をテーマに、北大の魅力や、北大で見つけた共有したいことから日頃の小さな悩みまで様々なことを詠んだ川柳を募集し、600 句を超える応募がありました。選ばれた特別賞を含む優秀作品は今後、統合 URA 本部のウェブサイト上で発表される予定です。

北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

2024年度

テーマ
北海道大学と私

北海道大学
川柳大会

北海道大学の魅力やちょっとした出来事、
日ごろ感じている学内のあれこれ!?
共感を呼ぶ一句をお待ちしています!

1日に
1度は
読みたい
小動物

北大祭
異国料理に
大行列

2年目
で
進め
られる
水産生

フィールドで
提出できない
出勤簿

部署異動
作った名刺の
山一峰

9時に
会議に
出たら
もう5時か

お迎え
仕掛け
られない
追実験

北海道大学で川柳大会を開催します

「北海道大学と私」をテーマに川柳大会を開催します。
北大の魅力や、北大の中で感じる様々なことを、川柳にしてみませんか。
北大で見つけた共有したいことから日頃の小さな悩みまで、
5・7・5の音に込めて応募ください。
2025年3月には学上で、ご応募いただいた作品の中から、特別賞を含む優秀作品
を発表します。

特別賞受賞者に副賞プレゼント!!
賞状と副賞
北大短角牛
WRCCA Table

応募〆切: 2025年2月21日(金)
特別賞を含む優秀作品の発表(3月予定)

応募はWebフォームから
川柳を詠みつけたら、以下のWeb記事からご応募
いただけます。北大の在籍者であればどなたでも
下記のURLから応募ください。
URL: <https://u4u.ouc.hokudai.ac.jp/12275/>

【問い合わせ先】 北大川柳実行委員会2024 メール: ku_senryu@ouc.hokudai.ac.jp

HOKKAIDO UNIVERSITY

FY2024

What do you like about Hokudai?
Share your thoughts and experiences at Hokudai in senryu!
We welcome your emotive, funny, or thoughtful pieces.

Hokkaido University
Senryu Contest

Theme: Hokkaido University and I

Every day I walk
Hoping to meet a small creature
Joy in every step
「1日に1度は読みたい小動物」

Replication waits,
But the clock runs out too soon,
Child waits at daycare.
「お迎え仕掛けられない追実験」

Meetings all day long
Nine to five, the clock has flown
Where did my day go?
「9時に来て会議に出たらもう5時か」

Call for Hokkaido University Senryu Contest Entries

Entries are now open for the Senryu Contest under the theme of "Hokkaido University and I".
Create a senryu about what you like about Hokudai or your thoughts and feelings at Hokudai.
It can be anything from what you discovered at Hokudai that you wish to share to even a little daily annoyance.
We welcome your entries in the form of very short poetry of three lines.
In March 2025, outstanding entries, including special awards, will be selected and announced on our website.

Special award winners
will receive a prize!!
賞状と副賞
北大短角牛
WRCCA Table

Entry Deadline:
Friday, February 21, 2025
Announcement of outstanding pieces
including special awards (scheduled March)

Submitting No limit on the number of entry
To submit your entry, access the online form below.
Submit your senryu whenever you are
inspired! The website allows for quick
and easy submissions for any Hokudai
member.
URL: <https://u4u.ouc.hokudai.ac.jp/ku/12275/>

Important Reminders

- Submitted entries will be processed on our website (URL) at a later date. No individual name or department affiliation will be disclosed. Please note that all copyrights (including the rights stipulated in Article 21 and 28 of the Copyright Act and all other rights in the submitted work) must be transferred to the organizer upon entry and that you agree not to exercise any moral rights of authors concerning the submitted work.
- Entries deemed inappropriate by the organizer, such as those that defame or invade a third party or damage the reputation or credibility of others, may be edited or have their selections cancelled without the entrant's consent.
- Only those affiliated with the University (current faculty, staff, students, and student group participants) can submit.
- Submitted works may be used in promotional activities for the University.
- The contest details are available on the Integrated URA Office and the Office of Diversity, Equity, and Inclusion websites.
- The content may be cancelled due to unforeseen circumstances.

【Inquiries】 Hokudai Senryu Committee 2024 Email: ku_senryu@ouc.hokudai.ac.jp

女性研究者育成支援部門

アカデミックファンタジスタ

北海道大学の研究者が知の最前線を出張講義や現場体験を通して高校生などに伝える事業「アカデミックファンタジスタ」は、内閣府が推進する「国民との科学・技術対話」事業の一環として、北海道新聞社の協力のもと 2012 年から継続的に実施しています。今年度は、29 名の研究者のうち 9 名の女性研究者が参加しました。DEI 推進本部は今後もこのような機会を活用して、北海道内の高校生に向けて本学の女性研究者ロールモデルを積極的に発信し、特に女子生徒の本学への進学を後押ししていきます。



教育推進部門

「あつまれ、未来の女性法律家!!—弁護士・裁判官・検察官に会ってみよう!」後援

■ 日付 2024年8月5日（月）

■ 場所 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W棟）

北海道大学法学部・大学院法学研究科・法科大学院・法学研究科附属高等法政教育研究センター主催のイベント「あつまれ、未来の女性法律家!!—弁護士・裁判官・検察官に会ってみよう!」を後援しました。

第一線で活躍する女性法律家の方々に、仕事の内容や魅力、私生活とキャリアの両立、さらにはどんな中高生時代を過ごしていたのかまで、様々な疑問に直接答えていただく貴重な機会となったようです。



あつまれ、未来の女性法律家!!
 弁護士・裁判官・検察官に会ってみよう!

明日の司法は、多様な人材を求めています!!
 女性の法律家(弁護士・裁判官・検察官)は、全体の3割未満。
 「仕事が大変そう...」、「家庭と両立できるかな...」と、
 「仕事が大変そう...」、「家庭と両立できるかな...」と、
 法律家になる夢をあきらめていませんか?
 さまざまな分野で活躍する法律家から、直接、仕事、生活、キャリアについて
 話を聞いてみたら、あなたの不安なんて吹き飛びます。
 司法の現場は、性別にかかわらず、興味のある人を歓迎します。

参加費 無料

2024.8/5 MON
 13:15 ~ 16:30

会場 北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟(W棟)
 アクセスマップは こちら

対象 中学生・高校生・保護者・教員 ほか
 年齢・性別を問わず、法律家・法学部に興味のある方大歓迎!
 (手続通り)をご希望の方
 7月16日までに、下記のお問い合わせ先へメールでご連絡ください。

プログラム
 ※観覧者までのご参加も可能です

第1部 パネルディスカッション
 13:15 ~ 14:15 「女性法律家(弁護士・裁判官・検察官)の仕事と生活」

第2部 進路説明・司法試験合格体験談
 14:15 ~ 14:45 **定員 100名**

第3部 中高生・学生向けグループセッション
 15:00 ~ 16:30 1グループ10名程度で、各分野で活躍する法律家と仕事内容、日々の生活、ワークライフバランスなど気軽にトークできます。 **定員 30名**

要事前申込み
 お申込みはこちら
 https://www.juris.hokudai.ac.jp/for_joho_info.html
 申込締切: 7/21(日)
 申込状況等によっては、申込締切後に募集を締め切る場合がございます。お早めにお申込みください。

主催/北海道大学法学部・大学院法学研究科・法科大学院
 法学研究科附属高等法政教育研究センター
 後援/北海道大学 DEI推進本部、北海道、札幌市、北海道教育委員会、札幌市教育委員会、北海道新聞社、北海道弁護士会連合会、函館弁護士会、旭川弁護士会、釧路弁護士会、NHK札幌放送局

企画/協力/札幌弁護士会 お問い合わせ/北海道大学法学部 E-mail: hokudaiawko@juris.hokudai.ac.jp
個人情報の取扱いについてお問い合わせは、お問い合わせ先へお問い合わせください。お問い合わせ先は、お問い合わせ先へお問い合わせください。お問い合わせ先は、お問い合わせ先へお問い合わせください。

<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/24759/>

「ダイバーシティ・インクルージョンに関する図書展示」 共催

■ 期間・場所 2024年12月16日(月)～2025年1月31日(金)
北海道大学附属図書館北図書館
2025年2月3日(月)～2025年3月14日(金)
北海道大学附属図書館本館

DEI推進本部は「ダイバーシティ&インクルージョン」について深く知っていただくため、附属図書館と共催で、附属図書館本館・北図書館に特設コーナーを設置し関連図書の展示を行いました。

また、展示に先立ち、本学の教職員・学生を対象に、テーマに合わせた推薦図書の募集を行いました。

● 今年度の推薦図書一覧

北図書館	<ul style="list-style-type: none">●超人ナイチンゲール(シリーズ ケアをひらく)●なぜ東大は男だらけなのか●わたしたち、体育会系 LGBTQ です 9人のアスリートが告白する「恋」と「勝負」と「生きづらさ」●サマータイム・ブルース 新版●生理ちゃん●愛と差別と友情と LGBTQ+: 言葉で闘うアメリカの記録と内在する私たちの正体●3万人の大学生が学んだ恋愛で一番大切な“性”のはなし
本館	<ul style="list-style-type: none">●氷室冴子とその時代 増補版●それ、フェミニズムに聞いてみない?: 日々のもやもやと一緒に考えるフェミニスト・ガイド●LGBTQ+ 性の多様性はなぜ生まれる?: 生物学的・医学的アプローチ●トランスジェンダー入門●教養としての精神医学●ものの言いかた西東●アイヌがまなざす: 痛みの声を聴くとき



150北海道大学創設150周年記念事業
北海道大学は2026年創設150周年を迎えます

Diversity & Inclusion

女性のエンパワーメント

種がいの理解と支援

ジェンダーセクシュアリティ

DEIをめぐる多様な視点

北図書館 東棟2F 展示スペース 2024.12.16 - 2025.1.31

本館 南棟2F Sky Open Area 2025.2.3 - 2025.3.14

北海道大学附属図書館(本館・北図書館)では、上記の4つのテーマに関連する図書展示を開催します。
図書を通じて多様性を受け入れる社会と大学の在り方を一緒に考えてみませんか。
※本館と北図書館で展示する図書は異なります。

図書展示

Book Fair

北海道大学

北海道大学ダイバーシティ・インクルージョン推進本部
北海道大学附属図書館(共催)

<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/25908/>

29

「体験型科学実験教室：『感じて』動くロボットを作るには」開催

- 日付 2024年12月14日（土）
- 場所 北海道大学大学院情報科学研究院
- 対象 中学生



DEI 推進本部主催、公益財団法人 KDDI 財団・大学院情報科学研究院共催で中学生対象体験型科学実験教室「『感じて』動くロボットを作るには」を実施しました。札幌市内の中学校に案内を出したところ定員を超える申し込みがあり、抽選にて選ばれた 10 名と保護者が参加しました。

イベントでは最初に小林孝一教授（大学院情報科学研究院）による内容説明を受けた後、車輪型移動ロボットを作成しました。ロボット完成後、TA の大学院生によるサポートを受けながらロボットのプログラムを作成し、指示通りに紙に書かれた黒い線の上を外れないで動くよう調整を繰り返しました。初めは緊張気味に見えた中学生の皆さんでしたが、他の参加者や TA の大学院生と協力するうちに段々と和気あいあいとした雰囲気になりました。課題を成功させようと奮闘する姿が印象的でした。

終了後アンケートでは「自分でできかいをうごかす経験は中々ないので楽しめた」「うまくまわることができた時のたっせいかがすごかった。」等の声があり、皆さんの楽しみながら参加されていた様子がうかがえました。



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/26331/>

「体験型科学実験教室：数字で4次元が見える～多面体の形を数える」 共催

- 日付 2024年12月15日（日）
- 場所 北海道大学理学部
- 対象 中学生

大学院理学研究院数学部門主催、公益財団法人KDDI財団・DEI推進本部共催で中学生対象体験型科学実験教室「数字で4次元が見える～多面体の形を数える」を実施しました。札幌市内の中学校に案内を出したところ定員を超える申し込みがあり、抽選にて選ばれた14名と保護者・教員が参加しました。

はじめに、松本圭司教授（大学院理学研究院数学部門）から、いくつかの多面体の構造について説明を受けた後、配られた展開図から組み立てる課題が出され、中学生はともに参加した保護者や教員と一緒に作成しました。実際に作った多面体を参考に、構成する線や面について三次元の構造を理解したあとは、数学を使って四次元のモノの見方を考えました。

なかなかイメージすることができない四次元の世界に大人達が苦勞する中、中学生はTA学生によるサポートも受けながら、無限に作ることが可能となる多面体を数える課題に熱心に取り組みました。

終了後アンケートでは「二次元→三次元→四次元の拡張のつながりがとても美しいと感じた」（中学生）、「こういったイベントに参加すること自体が、子どもたちにとって良い刺激になります！」（保護者）等の声があり、有意義な時間を過ごされた様子がうかがえました。

北海道大学大学院理学研究院数学部門主催
科学実験教室

数学で4次元が見える ～多面体の形を数える～

理科の授業において必要となる幾何学や図形を扱うために、より深く理解するための実験教室を開催します。
このイベントでは、具体的な数字を通して幾何学の世界へ入り込み、多面体の形を数えることで、幾何学の面白さを体験します。
4次元空間のモノを数えるために幾何学がどう活躍するかが明らかになります。

講師：松本圭司
（北海道大学大学院理学研究院数学部門 教授）

2024.12.15（日）
13:00-16:30

会場：北海道大学理学部4号館 4-501
（札幌市北区北15条西9丁目）

参加費：無料
持ち物：筆記用具
対象：中学生（15名まで）とその引率者

※参加申し込みは11月30日までにご参加ください。申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。
webページ：https://www2.dei.hokudai.ac.jp/dept/math/event/1203
QRコードからもアクセスできます。

共催：公益財団法人KDDI財団、北海道大学DEI推進本部（後援：KDDI / 北海道教育庁）



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/26348/>

「体験型科学実験教室：北大工学部まるごと体験ツアー」 共催

- 日付** 2024年12月26日（木）
場所 北海道大学工学部
対象 中学生

工学部において、工学部主催、公益財団法人KDDI 財団・DEI 推進本部共催による中学生対象体験型科学実験教室「建物もやっ
てる研究も広すぎる！北大工学部まるごと体験ツアー」を実施
しました。札幌市内の中学校に案内を出したところ定員を超える申
し込みがあり、抽選で選ばれた38名と保護者が参加しました。

イベントでは最初に松浦妙子教授（大学院工学研究院）による
工学部の紹介・講義体験を受けた後、「材料力学」「原子力環境材
料学」「医工学」の3チームに分かれて実験を体験しました。工学
部食堂で昼食を取り、午後からはLINAC（直線加速器）の説明を
受け、超高圧電子顕微鏡の見学を行いました。最後は中学生・保護者に分かれて教員・大学院生との
懇談の時間が設けられ、実験教室は盛況のうちに終了しました。

朝から夕方まで盛りだくさんの内容で、工学部が行っている幅広い研究の一部を目で見て体験する
ことが出来たかと思います。

参加者からは「進路を選択する上で、とても貴重な経験ができました。」「学生さんや先生方との懇
談がとても楽しかったです。ざっくばらんにお話できて良かったです。」等の声があり、充実した時間
を過ごされた様子がうかがえました。



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/26368/>

「中学生対象イベント：獣医学部の世界へようこそ・研究体験ワークショップ」共催

- 日付 2025年2月1日（土）
- 場所 北海道大学獣医学部
- 対象 中学生

獣医学部において、獣医学部、ダイバーシティ・インクルージョン推進本部、One Health リサーチセンター共催による中学生対象イベント「獣医学部の世界へようこそ・研究体験ワークショップ」を実施しました。札幌市内の中学校にご案内したところ定員を大幅に超える申し込みがあり、抽選で選ばれた29名と保護者が参加しました。

イベントでは最初に岡松優子教授（獣医学研究院）による獣医学部の紹介・全体説明があり、その後参加者は3つのチームに分かれ「血液中の細胞を見てみよう！」「ヒグマを捕まえて調べよう！」「見えない分子を見てみよう！」の各教室を順に周りワークショップに参加しました。

「血液中の細胞を見てみよう！」では、顕微鏡の使い方を習い、肉眼では見えない血液の中の色々な細胞を見つけ、その特徴について学びました。

「ヒグマを捕まえて調べよう！」では、熊に麻酔をかけるための吹き矢や、熊の歯から年齢を調べる等を体験し、野生動物の調査について学びました。

「見えない分子を見てみよう！」では、遺伝子やタンパク質等の小さな分子を見るため、マイクロペットを使ってDNAの抽出等を体験し、動物の命の仕組みを学びました。

その後は質問コーナーが設けられ、中学生からは「調査で得られたデータはどうしているのか」「なぜ獣医学部に入ったのか」等、教員や学生に対し様々な質問がありました。会の最後には全員で記念撮影を行い、イベントは盛況のうちに終了しました。

北大獣医学部 体験スクール2025
動物のお医者さん…だけじゃない！
獣医学部の世界へようこそ 要事前
研究体験ワークショップ 申し込み

参加無料

動物の出産をするだけでなく、
動物の身体の仕組みや、
どうして病気になってしまうのか、
どうしたら動物を治せるのか、
さまざまな研究分野で動物の健康を維持しています。
獣医学部でどんな研究をしているのか、
実際にどんな実験をしているのか、
その一部を知って体験できるイベントです！

講師 生命の仕組みを調べる獣医師・岡松 優子 教授
野生動物の生き方を調べる獣医師・下藤 健人 准教授
人の健康を守る獣医師・小林 寛太郎 准教授
動物の成長発達を調べる獣医師・山口 聖子 准教授
動物の心を利用する獣医師・大谷 祐紀 特別講師
動物の病気を調べる獣医師・柳川 恵也 特別講師

プログラム
動物解剖や実験装置を使って、
実験・観察・検査を体験していただきます。
（動物に触れる体験はありません）

日時 2025/2/1（土） 13:00～15:30
場所 北海道大学 獣医学部（札幌市北18条9丁目）
※ 詳細は会場にお知らせします
対象 札幌近郊にお住まいの 中学生 定員 30名（抽選）
※ 保護者の来場が必須です
※ 参加費：上記3条件を満たす場合は1名まで
申し込み方法
北海道大学獣医学部のWebサイトから！「北大獣医体験スクール」で検索
応募締切：2025年1月17日（金）
https://www.vetmed.hokudai.ac.jp/young/visit/visit.html_20250201

【協賛】北海道大学獣医学部、北海道大学ダイバーシティ・インクルージョン推進本部、北海道大学One Healthリサーチセンター



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/26620/>


「HAPPY WOMEN FESTA 大学生サミット～私たちが考える！ Well-beingな未来とは～」協力

- 日付 2025年3月9日（日）
- 場所 BiVi 新さっぽろ
- 参加大学 北海道大学、藤女子大学、北海道医療大学
- 参加学生 馬詰 知佐（医学部医学科）
齊藤 心（総合教育部 理学部化学科）
樋山 詠亮（総合教育部 総合入試文系）
宮本 汐里（獣医学院 博士課程）

3月8日の「国際女性デー」にあわせ、全国各地で「HAPPY WOMAN FESTA 2025」が開催されました。札幌では3月8日（土）～9日（日）の二日間に渡って「HAPPY WOMAN FESTA 2025 HOKKAIDO」として様々なプログラムが行われました。

今年初開催された『HAPPY WOMAN 大学生サミット』には、本学の学生で構成された2チームが参加しました。

「女性が生き生きと“自分らしく働く社会”を創るために」をテーマに、働く女性を取り巻く健康課題（月経・更年期・がん）と仕事の問題について、解決策を大学生がプレゼンテーションし、女性の活躍・健康支援等に取り組んでいる道内企業やコメンテーターと一緒に考えました。解決策のアイデアは今後、北海道女性支援室に提言される予定です。



HAPPY WOMAN
大学生サミット
～私たちが考える！
Well-beingな未来とは～

参加大学生を募集します！

日時：2025年3月9日（日）
12:00～15:00 予定
会場：BiVi新さっぽろ

テーマは「女性が生き生きと自分らしく働く社会を創るために」
働く女性を取り巻く健康課題とその解決策を徹底討論！
道内企業で行われている女性の健康支援等の取り組みについても発表。
男女がより良く生きられる社会を目指して…解決策のアイデアを北海道に提言！

■当日のプログラム（予定） 約130分

- ・第一部 学生ディスカッション
会場：（例）月経・女性特有のがん、更年期）について学生からの発表とディスカッション
企業やコメンテーターと共に解決策を考える（90分）
- ・第二部 企業トークセッション
「働く女性を取り巻く課題」「女性活躍（健康）支援の取り組み」等
道内企業の代表者（3社）とコメンテーターを交えてトーク、学生からの質問も（30分）
- ・まとめ（10分）

→GOAL 後日、サミットで出たアイデアを「北海道女性支援室」に提言！

➤ 発表までの活動（予定）

- ・参加決定後、一度学内でオリエンテーションを行います。
- ・その後、チームで課題に取り組み、発表内容をまとめます。



写真提供：HAPPY WOMAN 実行委員会北海道支部

<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/26665/>

2024年度実施事業一覧

実施日	実施事業
6/28	「上位職スキルアップ研修：女性研究者のためのリーダーとして『話す力』”実践編”」開催
7/16	理系女子学生・院生キャリアデザインセミナー「自分らしい、ありたい姿を考えよう～ロールモデルとの対話から考える～」開催
8/2	「第1回北大女性教授ネットワーキングの会」開催
8/5	「あつまれ、未来の女性法律家！！－弁護士・裁判官・検察官に会ってみよう！」後援
9/15	北大× JAL「さっぽろレインボープライド 2024」パレード参加
11/13,20	DEI 公開講座 開催（大学院共通科目「SOGIESC 概論：セックス・ジェンダー・セクシュアリティ研究入門」）
11/22	DEI キャンペーン特別講演会「DEI (Diversity, Equity, and Inclusion) の視点からみる大学のイノベーション創出とグローバルリーダーの育成」開催
11/23-28	フィンランド・オウル大学 訪問調査
12/4	国立大学法人北海道大学桂田芳枝賞
12/4	DEI キャンペーン「障害者週間特別講演会 『耳が聞こえなくなっても～難病の子供を持ち、大企業を辞めて起業するまで～』」開催
12/14	「体験型科学実験教室：『感じて』動くロボットを作るには」開催
12/14	北海道大学リカレント教育推進部公開シンポジウム「誰もがつながり合う共生のまちづくり～演劇教育が創る未来のビジョン～」共催
12/15	「体験型科学実験教室：数字で4次元が見える～多面体の形を数える」共催
12/16～3/14	「ダイバーシティ&インクルージョンに関する図書展示」共催
12/26	「体験型科学実験教室：北大工学部まるごと体験ツアー」共催
1/27	FD 講演会「東京科学大学（理工系）に於ける女性活躍への施策と課題」共催
2/1	「中学生対象イベント：獣医学部の世界へようこそ・研究体験ワークショップ」共催
3/3	「Woman's Career Canvas～女子学生が描くキャリアの未来図～」開催
3/9	「HAPPY WOMEN FESTA 大学生サミット～私たちが考える！ Well-being な未来とは～」協力
3/10	「第2回北大女性教授ネットワーキングの会」開催



COLOPHON

ANNUAL REPORT 2024

発行

2025 年 3 月


発行者

北海道大学ダイバーシティ・インクルージョン推進本部

お問い合わせ先

〒060-0812
札幌市北区北 12 条西 7 丁目
北海道大学 中央キャンパス総合研究棟 1 号館 1 階

TEL / 011-706-3625
Email / office@dei.hokudai.ac.jp



HOKKAIDO UNIVERSITY
OFFICE OF DIVERSITY,
EQUITY,
AND INCLUSION
www.dei.hokudai.ac.jp



北海道大学
ダイバーシティ・インクルージョン推進本部
Office of Diversity, Equity, and Inclusion